

プラスチック製品製造業におけるはしご等を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	7~8	工場内成形2係にて、エアーバルブのエアー漏れが発生していた為、高さの低い踏み台に登りエアーホースの接続口を抜こうとした際に、バランスを崩して踏み台より転倒し、床に頭をぶつけて後頭部を13針縫う大怪我を負ったものである。	58	100~299
2	14~15	4段式脚立を使用し、大型浄化槽の組立作業中、脚立がぐらついたので3段目より飛び降りた際、右足の踵を亀裂骨折した。	65	10~29
5	9~10	組立第二工場内にある3V4G自動機に成形単品を供給するため、単品が入っているバケットを持って踏み台に上った。単品供給を終え、空バケットを持ったまま踏み台を降りたところ、左足ふくらはぎに強い痛みを感じ、歩くことが出来なくなった。	45	300~499
5	14~15	工場内で1m四方の受けの中に材料を入れる仕事をしていて、すぐ横に木のパレット5枚（75cm）があり、その上に材料をのせて受けの中に入れていた。たまたま樹脂が柔らかかったのでぐらりとしてふらついて落ちて骨折（ひじ、手首）した。	61	1~9
7	10~11	工場2階で金型交換の原料抜き取り作業において、約50cmの高さの踏み台に上がる時、誤ってバランスを崩し背中から倒れて、頭からお尻あたりを打撲した。	27	10~29
10	14~15	脚立に乗り、作業台上のウレタンをセットし終えて脚立を降りようとしたところ、足を踏み外し尻餅をつくかたちで落ちてしまった。	52	50~99
		成形室のプレス機で、製品をセットする為に踏み台に登り、降りる際に左足に痛み		100

11	18～ 19	が走った。当日、夜間外来で「肉離れの可能性がある」と診断、鎮痛剤を処方される。歩行中も痛みがある状態が続き、後日に再度整形外科を受診し、左足ふくらはぎ肉離れ全治2週間の診断を受け安静療養となる。	41 ～ 299
12	14～15	8名で倉庫の棚卸し作業をしていた際、倉庫の棚は3段で、2段目の高さ約1mのステップを用いて目視でカウントする。その際にステップから足を滑らせ、後ろ向きに転倒し、背中と腰を打った（頭部と首は打っていない）。	100 41 ～ 299

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)